

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2013. 10~12月期 第8回

【特別調査—平成26年の経営見通し】

あけましておめでとうございます。津山信用金庫は、作州地域内の経営者のご協力のもと、第8回つしん景況レポートを発刊いたしました。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況：10月～12月の業況は晴れ、1月～3月の見通しも晴れ■

【地域別天気図】	2012年 10月～12月	2013年 1月～3月	2013年 4月～6月	前期実績 7月～9月	今期実績 10月～12月	来期見通し 1月～3月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2013年10月～12月)の業況判断DIは、前期比23.8ポイントと大幅に上昇し、プラス33.6となった。来期(2014年1月～3月)もプラス34.1と好況感が続く見通しとなっている。

・地域別には、津山鏡野地域は前期比28.9ポイント上昇しプラス37.4、真庭地域は前期比22.5ポイント上昇しプラス41.4、美作勝央地域は8.2ポイント上昇しプラス11.4となった。来期も、津山鏡野地域プラス36.6、真庭地域プラス22.0、美作勝央地域プラス40.0と好況感が続く見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	9.8	47.2	39.2	13.6	33.6	46.2	41.7	12.1	34.1
津山鏡野地域	8.5	50.4	36.6	13.0	37.4	47.2	42.3	10.6	36.6
真庭地域	18.9	51.2	39.0	9.8	41.4	41.5	39.0	19.5	22.0
美作勝央地域	3.2	31.4	48.6	20.0	11.4	48.6	42.9	8.6	40.0

※ DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上～ 30未満	0以上～ 10未満	△10以上 ～ 0未満	△30以上 ～ △10未満	△30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2012年 10月～12月	2013年 1月～3月	2013年 4月～6月	前期実績 7月～9月	今期実績 10月～12月	来期見通し 1月～3月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						

全業種 DI区分	前期 DI	今期実績			DI	来期見通し			DI
		良い・増加	普通・変らず	悪い・減少		良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	
業況	9.8	47.2	39.2	13.6	33.6	46.2	41.7	12.1	34.1
売上	19.6	54.8	31.7	13.6	41.2	41.2	39.2	18.6	22.6
収益	6.9	42.2	43.7	14.1	28.1	32.7	46.2	19.6	13.1

●業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)は前期比23.8ポイントと大幅に上昇し、プラス33.6となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス34.1となっている。

●売上DIは、今期はプラス41.2となり、前期比21.6ポイントと大幅に上昇した。来期見通しはプラス22.6となっている。

●収益DIは、今期はプラス28.1となり、前期比21.2ポイントと大幅に上昇した。来期見通しはプラス13.1となっている。

全業種 DI区分	前期 DI	今期実績			DI	来期見通し			DI
		楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足		楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	
資金繰り	▲2.4	11.6	79.4	9.0	2.6	10.6	79.4	10.1	0.5
雇用(人手過不足)	▲28.9	4.0	59.8	36.2	▲32.2	4.0	61.8	34.2	▲30.2
設備投資	▲13.5	3.2	77.1	19.7	▲16.5	3.2	80.4	16.4	▲13.2

●資金繰り判断DIは、今期(2013年10月～12月)はプラス2.6となり、前期比5.0ポイント上昇した。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス0.5となっている。約8割の企業が、「変らず」の回答となっている。

●人手過不足判断DIは、今期はマイナス32.2となり、前期比3.3ポイント下降した。来期見通しはマイナス30.2となっている。人手不足感が強まっているが、中長期的に景況感が不透明であるため、安易に増員できないとする声が多かった。

●設備投資DIは、今期はマイナス16.5となり、前期比3.0ポイント下降した。来期見通しもマイナス13.2となっている。「適正」と回答のあった企業が4分の3を上回っている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	18.4	52.3	33.8	13.8	38.5	44.6	41.5	13.8	30.8
売上	33.3	56.9	29.2	13.8	43.1	32.3	43.1	23.1	9.2
収益	21.7	44.6	40.0	15.4	29.2	26.2	47.7	23.1	3.1

● 製造業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)は前期比20.1ポイントと大幅に上昇し、プラス38.5となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス30.8となっている。

● 売上判断DIは、今期はプラス43.1、来期見通しはプラス9.2となっている。

● 収益判断DIは、今期はプラス29.2、来期見通しはプラス3.1となっている。

● 製造業の内、下表の製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業)を除くその他製造業の業況判断DIは、今期はプラス40.8、来期見通しはプラス25.9となっている。

● 製品受注後、短納期での生産により他社との差別化を図っている企業が複数あった。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績			来期見通し				
DI区分		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	75.0	25.0	0.0	75.0
売上	18.2	33.3	50.0	16.7	16.6	41.7	50.0	8.3	33.4
収益	9.1	33.3	50.0	16.7	16.6	41.7	50.0	8.3	33.4

● 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)は前期比33.3ポイントと大幅に上昇し、プラス33.3となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス75.0となっている。

● 売上判断DIは、今期はプラス16.6、来期見通しはプラス33.4となっている。

● 収益判断DIは、今期はプラス16.6、来期見通しはプラス33.4となっている。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績			来期見通し				
DI区分		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	15.4	71.4	28.6	0.0	71.4	50.0	42.9	7.1	42.9
売上	46.1	78.6	21.4	0.0	78.6	35.7	28.6	35.7	0.0
収益	23.1	64.3	35.7	0.0	64.3	28.6	42.9	21.4	7.2

● 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)「悪い」と回答した企業はなく、前期比56.0ポイントと大幅に上昇しプラス71.4となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス42.9となっている。

● 売上判断DIは、今期プラス78.6、来期見通しはゼロとなっている。

● 収益判断DIは、今期プラス64.3、来期見通しはプラス7.2となっている。

● 製材工場では、消費増税前の住宅着工戸数の増加により受注が増加している。原木相場も10月以降4割も急上昇しており、販売単価への転嫁が課題となっている。

製造業のうち： 農林業	前期	今期実績			来期見通し				
DI区分		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	9.1	25.0	50.0	25.0	0.0	16.7	50.0	33.3	▲ 16.6
売上	9.1	58.3	25.0	16.7	41.6	8.3	50.0	33.3	▲ 25.0
収益	9.1	33.3	41.7	25.0	8.3	8.3	41.7	41.7	▲ 33.4

- 農林業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)はゼロとなった。来期(2014年1月～3月)見通しはマイナス16.6となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス41.6、来期見通しはマイナス25.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス8.3、来期見通しはマイナス33.4となっている。
- 来期は、冬場の雪や収穫減の影響から業況が悪いと予想する企業が多くなっている。
- 林業では、10月から原木価格が上昇しており、久しぶりの好景気に喜んでいるとの声があった。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	36.3	60.6	27.3	12.1	48.5	57.6	36.4	6.1	51.5
売上	39.4	63.6	30.3	6.1	57.5	39.4	51.5	9.1	30.3
収益	33.3	36.4	54.5	9.1	27.3	33.3	54.5	12.1	21.2

- 建設業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)はプラス48.5となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス51.5となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス57.5、来期見通しはプラス30.3となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス27.3、来期見通しはプラス21.2となっている。
- 住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期はプラス22.2となった。来期見通しはプラス33.3となっている。
- 耐震補強工事の公共事業や消費増税前の駆け込み契約の増加で事業用建物や個人住宅の受注が多くなっている。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	66.7	86.7	6.7	6.7	80.0	73.3	26.7	0.0	73.3
売上	73.3	80.0	20.0	0.0	80.0	26.7	73.3	0.0	26.7
収益	46.6	40.0	53.3	6.7	33.3	20.0	73.3	6.7	13.3

- 住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)はプラス80.0となった。来期(2014年1月～3月)の見通しはプラス73.3となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス80.0、来期見通しはプラス26.7となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス33.3、来期見通しはプラス13.3となっている。
- 消費増税前の受注増加で、来年の仕事量の大半を確保できているとする企業が多かった。
- 反面、人材不足や外注先が確保できにくくなっていたり、一部の建材で納入遅れが発生しているとの声が複数あった。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	35.7	47.8	30.4	21.7	26.1	43.5	43.5	13.0	30.5
売上	57.1	52.2	30.4	17.4	34.8	43.5	30.4	26.1	17.4
収益	14.3	43.5	34.8	21.7	21.8	26.1	43.5	30.4	▲4.3

- 卸売業の業況判断DIは、今期(2013年10月~12月)はプラス26.1となった。来期(2014年1月~3月)見通しはプラス30.5となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス34.8、来期見通しはプラス17.4となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス21.8、来期見通しはマイナス4.3となっている。
- 消費増税前の特需で住宅着工件数が増加しており、建築材料卸売業で人材不足となっている企業が多くなっている。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 24.0	40.5	43.2	16.2	24.3	51.4	40.5	8.1	43.3
売上	▲ 12.0	56.8	27.0	16.2	40.6	70.3	21.6	8.1	62.2
収益	▲ 32.0	48.6	40.5	10.8	37.8	56.8	35.1	8.1	48.7

- 小売業の業況判断DIは、今期(2013年10月~12月)はプラス24.3となった。来期(2014年1月~3月)見通しはプラス43.3となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス40.6、来期見通しはプラス62.2となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス37.8、来期見通しはプラス48.7となっている。
- 自動車小売業を除く小売業の業況判断DIは、今期プラス30.8、来期見通しはプラス38.5となっている。
- 例年より早めの寒波襲来と円安で灯油、ガソリン、ガス等の燃料高や消費増税や排ガス規制強化等による商品値上がり前の需要で売上が増加している企業が多くなっている。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 30.0	27.3	54.5	18.2	9.1	54.5	45.5	0.0	54.5
売上	▲ 30.0	45.5	27.3	27.3	18.2	72.7	27.3	0.0	72.7
収益	▲ 30.0	36.4	45.5	18.2	18.2	54.5	45.5	0.0	54.5

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2013年10月~12月)はプラス9.1となった。来期(2014年1月~3月)見通しはプラス54.5となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス18.2、来期見通しはプラス72.7となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス18.2、来期見通しはプラス54.5となっている。
- 消費増税による駆け込み需要から販売増となっており、メーカーからも計画仕入れの要請がある。また、来期見通しで、業況の悪化を見込む企業および売上、収益の減少を見込む企業はなかった。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 20.0	30.0	50.0	20.0	10.0	40.0	30.0	30.0	10.0
売上	▲ 30.0	30.0	30.0	40.0	▲ 10.0	20.0	40.0	30.0	▲ 10.0
収益	▲ 30.0	30.0	30.0	40.0	▲ 10.0	20.0	40.0	30.0	▲ 10.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2013年10月~12月)はプラス10.0となった。来期(2014年1月~3月)見通しもプラス10.0となっている。
- 売上判断DIは、今期マイナス10.0、来期見通しもマイナス10.0となっている。
- 収益判断DIは、今期マイナス10.0、来期見通しもマイナス10.0となっている。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 9.7	35.5	61.3	3.2	32.3	35.5	51.6	12.9	22.6	
売上	▲ 3.2	48.4	45.2	6.5	41.9	32.3	45.2	22.6	9.7	
収益	▲ 9.7	38.7	54.8	6.5	32.2	25.8	51.6	22.6	3.2	

● サービス業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)はプラス32.3となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス22.6となっている。

● 売上判断DIは、今期プラス41.9、来期見通しはプラス9.7となっている。

● 収益判断DIは、今期プラス32.2、来期見通しはプラス3.2となっている。

● 平成の大遷宮で出雲大社への観光客が増加し、新幹線利用者が岡山駅から出雲大社まで観光バスを利用する特需があったとの声があった。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	8.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	58.3	8.3	25.0	
売上	8.4	41.7	58.3	0.0	41.7	33.3	58.3	8.3	25.0	
収益	▲ 8.3	33.3	66.7	0.0	33.3	25.0	66.7	8.3	16.7	

● 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2013年10月～12月)はプラス33.3となった。来期(2014年1月～3月)見通しはプラス25.0となっている。

● 売上判断DIは、今期プラス41.7、来期見通しはプラス25.0となっている。

● 収益判断DIは、今期プラス33.3、来期見通しはプラス16.7となっている。

(参考) 市町村別にみた事業所数・従業者数

平成25年8月27日、総務省統計局より「平成24年経済センサスー活動調査結果(確報)」が公表されました。

(1) 市町村別の事業所数

当金庫が営業店舗を置く作州地域の市町の事業所数は、10,154事業所で県全体の事業所数の12.5%となっている。

平成21年経済センサスと比較すると、事業所数の減少率は10.6%で県全体の8.9%を上回っている。

地域別	平成18年		平成21年		平成24年		平成24年-平成21年	
岡山県	84,647	100.0%	89,407	100.0%	81,438	100.0%	▲ 7,969	-8.9%
津山市	5,584	6.6%	5,760	6.4%	5,216	6.4%	▲ 544	-9.4%
真庭市	3,030	3.6%	2,948	3.3%	2,641	3.2%	▲ 307	-10.4%
美作市	1,645	1.9%	1,556	1.7%	1,360	1.7%	▲ 196	-12.6%
苫田郡鏡野町	619	0.7%	601	0.7%	494	0.6%	▲ 107	-17.8%
勝田郡勝央町	458	0.5%	494	0.6%	443	0.5%	▲ 51	-10.3%
上記の市町合計	11,336	13.4%	11,359	12.7%	10,154	12.5%	▲ 1,205	-10.6%

(2) 市町村別の従業者数

当金庫が営業店舗を置く作州地域の市町の従業者数は、85,429人で県全体の従業者数の10.6%となっている。

平成21年経済センサスと比較すると、従業者数の減少率は12.1%で県全体の10.8%を上回っている。

地域別	平成18年		平成21年		平成24年		平成24年-平成21年	
岡山県	816,563	100.0%	903,467	100.0%	805,627	100.0%	▲ 97,840	-10.8%
津山市	49,057	6.0%	51,354	5.7%	45,087	5.6%	▲ 6,267	-12.2%
真庭市	21,450	2.6%	21,500	2.4%	18,567	2.3%	▲ 2,933	-13.6%
美作市	12,651	1.5%	12,153	1.3%	11,409	1.4%	▲ 744	-6.1%
苫田郡鏡野町	5,370	0.7%	5,903	0.7%	4,832	0.6%	▲ 1,071	-18.1%
勝田郡勝央町	6,118	0.7%	6,239	0.7%	5,534	0.7%	▲ 705	-11.3%
上記の市町合計	94,646	11.6%	97,149	10.8%	85,429	10.6%	▲ 11,720	-12.1%

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	58.5	27.7	13.8	44.7
建設業	60.6	36.4	3.0	57.6
卸売業	56.5	21.7	21.7	34.8
小売業	51.4	29.7	18.9	32.5
不動産業	30.0	30.0	40.0	▲ 10.0
サービス業	45.2	45.2	9.7	35.5
総計	53.8	31.7	14.6	39.2

業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	44.6	43.1	12.3	32.3
建設業	42.4	39.4	18.2	24.2
卸売業	47.8	30.4	21.7	26.1
小売業	35.1	48.6	16.2	18.9
不動産業	20.0	30.0	50.0	▲ 30.0
サービス業	41.9	48.4	9.7	32.2
総計	41.2	42.2	16.6	24.6

業種別	増加	変らず	減少	DI
卸売業	13.0	82.6	4.3	8.7
小売業	24.3	70.3	5.4	18.9
総計	20.0	75.0	5.0	15.0

- ① 昨年同期(2012年10月～12月)比較売上高DIは、不動産業を除くすべての業種でプラスとなり、全業種でプラス39.2となった。
- ② 昨年同期比較収益DIは、不動産業を除くすべての業種でプラスとなり、全業種でプラス24.6となった。
- ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業はプラス8.7、小売業はプラス18.9となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降
製造業	13.4	29.2	70.8	0.0	29.2	13.8	78.5	7.7	6.1
建設業	24.2	21.2	72.7	6.1	15.1	18.2	75.8	6.1	12.1
卸売業	7.1	8.7	87.0	4.3	4.4	13.0	82.6	4.3	8.7
小売業	20.0	27.0	70.3	2.7	24.3	21.6	73.0	5.4	16.2
不動産業	▲ 40.0	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
サービス業	▲ 12.9	9.7	87.1	3.2	6.5	3.2	90.3	6.5	▲ 3.3
総計	8.1	21.1	74.9	4.0	17.1	13.6	79.4	7.0	6.6

- 販売価格DIは、今期は、不動産業を除くすべての業種でプラスとなり、全業種でプラス17.1となった。来期見通しは、全業種でプラス6.6となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降
製造業	45.0	49.2	47.7	3.1	46.1	30.8	64.6	4.6	26.2
建設業	57.6	45.5	54.5	0.0	45.5	48.5	48.5	3.0	45.5
卸売業	28.6	34.8	65.2	0.0	34.8	34.8	65.2	0.0	34.8
小売業	20.0	35.1	59.5	5.4	29.7	35.1	56.8	8.1	27.0
不動産業	▲ 20.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0
サービス業	29.1	32.3	61.3	6.5	25.8	19.4	77.4	3.2	16.2
総計	35.8	39.2	57.3	3.5	35.7	31.7	63.8	4.5	27.2

- 仕入価格DIは、不動産業を除き、今期は前期に引き続き仕入価格上昇の回答が多く、全業種でプラス35.7となった。来期見通しは全業種でプラス27.2となっている。
- 仕入価格の上昇をすべて販売価格に転嫁する予定の企業は少数であった。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正	不足傾向
業種別									
製造業	▲ 5.0	13.8	69.2	16.9	▲ 3.1	1.5	84.6	13.8	▲ 12.3
建設業	12.1	6.1	93.9	0.0	6.1	6.1	90.9	3.0	3.1
卸売業	7.1	13.0	82.6	4.3	8.7	4.3	87.0	8.7	▲ 4.4
小売業	4.0	13.5	75.7	10.8	2.7	13.5	75.7	10.8	2.7
不動産業	10.0	20.0	70.0	10.0	10.0	10.0	70.0	20.0	▲ 10.0
総計	2.8	12.5	77.4	10.1	2.4	6.0	83.3	10.7	▲ 4.7

●在庫DIは、今期は、製造業を除きプラスとなり、全業種でプラス2.4となった。来期見通しは、全業種でマイナス4.7となっている。

■受注残■

受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少
業種別									
製造業	18.3	52.3	36.9	10.8	41.5	33.8	49.2	16.9	16.9
建設業	51.5	60.6	36.4	3.0	57.6	33.3	54.5	12.1	21.2
総計	30.1	55.1	36.7	8.2	46.9	33.7	51.0	15.3	18.4

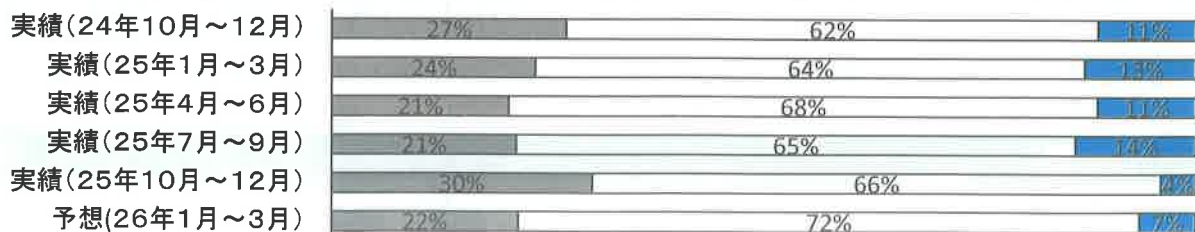
●製造業の受注残DIは、今期はプラス41.5となった。来期見通しはプラス16.9となっている。

●建設業の受注残DIは、今期はプラス57.6となった。来期見通しはプラス21.2となっている。

■雇用面の動き■

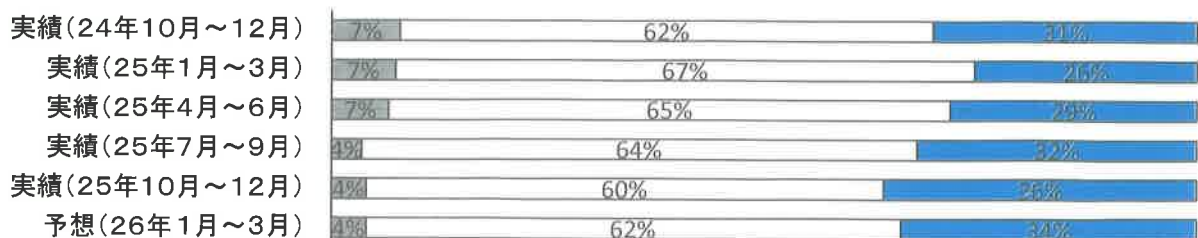
前期比残業時間

■増加 □変わらず ■減少

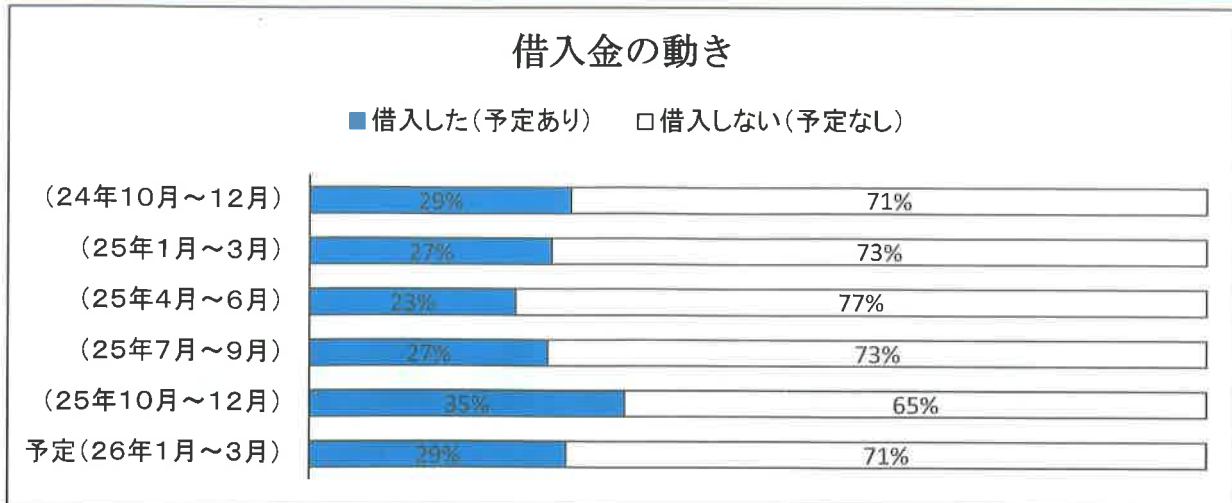


人手実績と予想

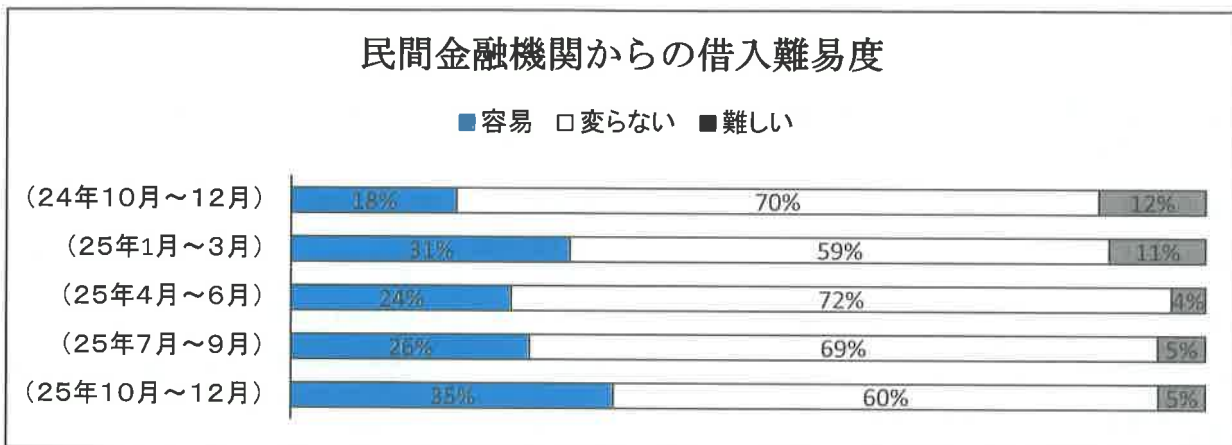
■過剰傾向 □変わらず ■不足傾向



■借入金の動き・難易度■



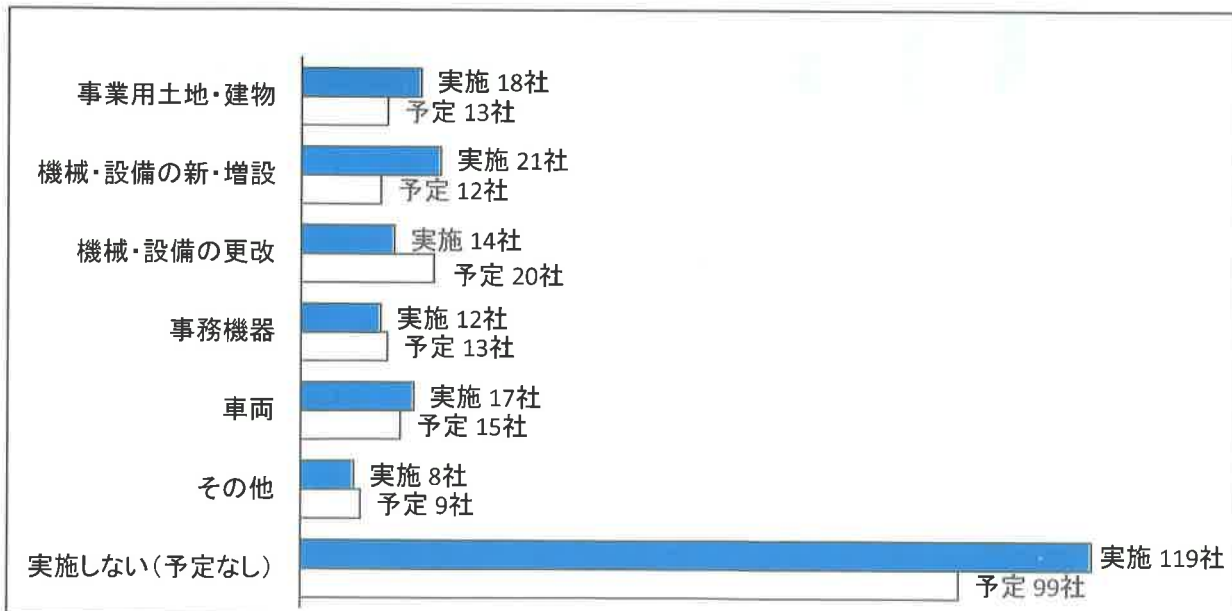
●借入を実施（25年10月～12月）した企業の割合は、去年同期比6ポイント増加した。借入の予定（26年1月～3月）をしている企業の割合は、去年同期実績に比べ2ポイント増加となっている。



●借入金の難易度（25年10月～12月）は、『容易』と回答した企業の割合が去年同期比17ポイント増加し、『難しい』と回答した企業の割合が去年同期比7ポイント減少した。

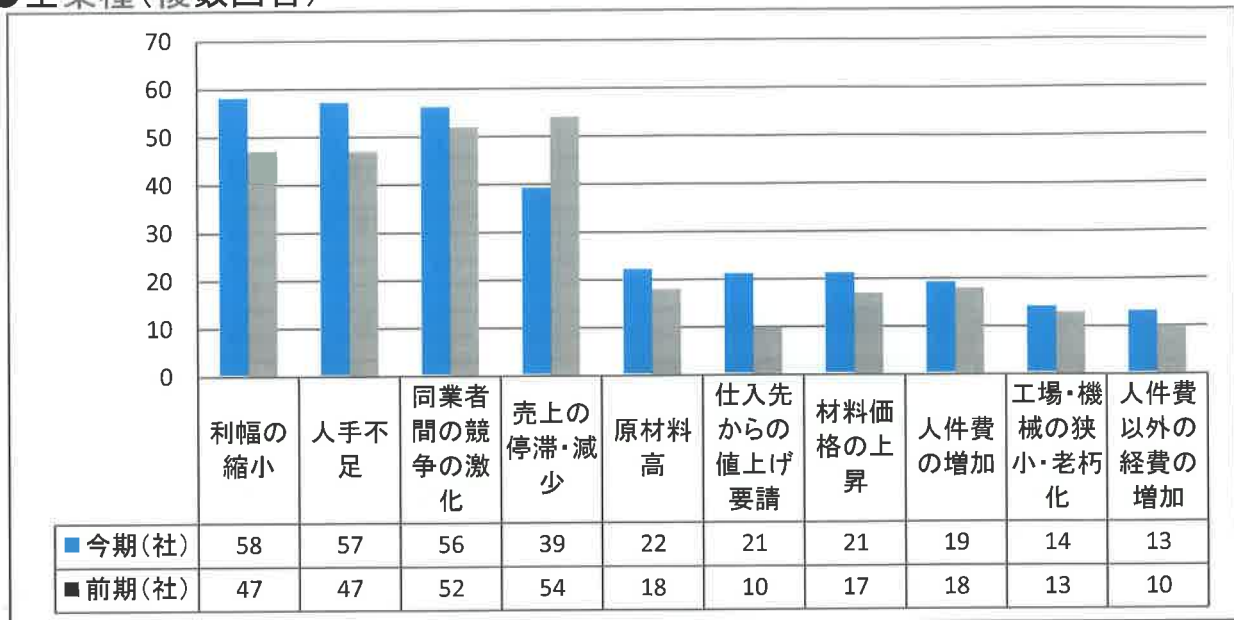
■設備投資の実施(25年10月～12月)と予定(26年1月～3月)■

●全業種(除く不動産業:有効回答計189社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

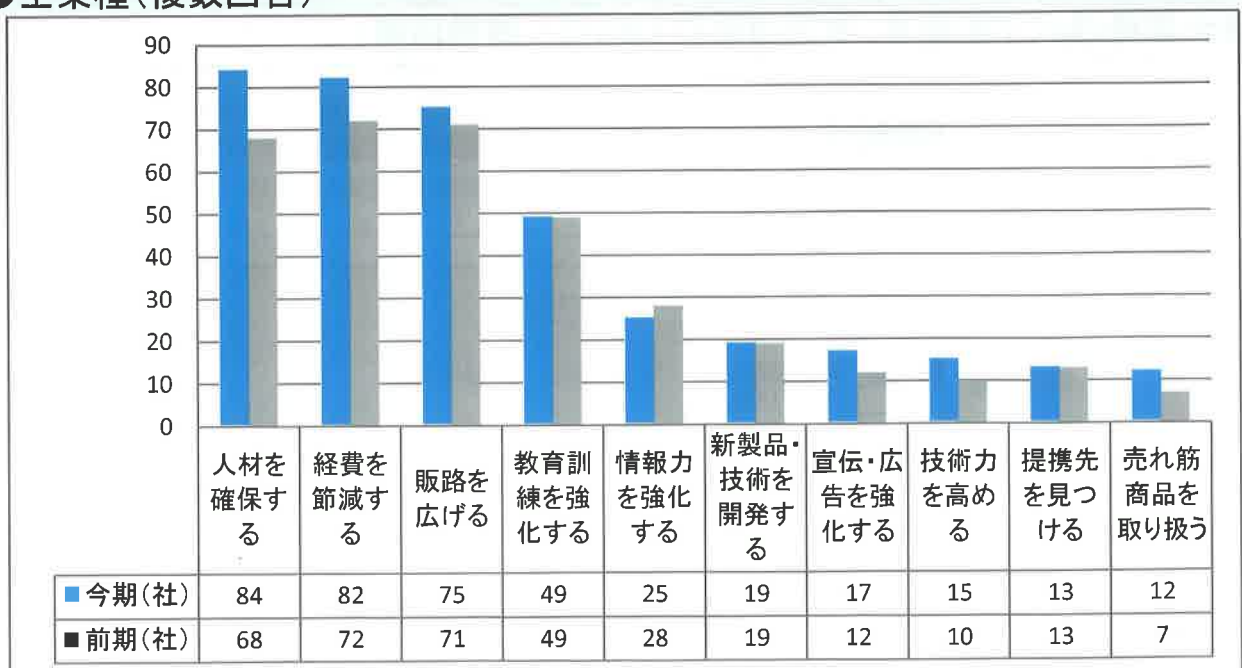


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	原材料高	14.9	人手不足	22.8	仕入先からの値上げ要請	16.1	利幅の縮小	18.2	売上の停滞・減少	33.3	人手不足	17.1
2位	利幅の縮小	14.2	材料価格の上昇	17.7	同業者間の競争の激化	14.3	同業者間の競争の激化	18.2	利幅の縮小	16.7	同業者間の競争の激化	13.2
3位	人手不足	10.1	利幅の縮小	10.1	利幅の縮小	14.3	商圏人口の減少	11.7	商品物件の不足	16.7	人件費の増加	10.5
4位	工場・機械の狭小・老朽化	9.5	下請の確保難	10.1	売上の停滞・減少	10.7	人手不足	7.8	同業者間の競争の激化	12.5	材料価格の上昇	9.2
5位	同業者間の競争の激化	9.5	同業者間の競争の激化	8.9	人手不足	8.9	売上の停滞・減少	7.8	その他	8.3	売上の停滞・減少	7.9

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	19.5	人材を確保する	24.1	販路を広げる	28.8	経費を節減する	18.3	情報力を強化する	28.6	人材を確保する	22.9
2位	経費を節減する	19.5	技術力を高める	18.1	経費を節減する	18.6	教育訓練を強化する	18.3	宣伝・広告を強化する	23.8	販路を広げる	15.7
3位	人材を確保する	16.4	経費を節減する	13.3	人材を確保する	15.3	売れ筋商品を取り扱う	14.6	販路を広げる	19.0	教育訓練を強化する	15.7
4位	新製品・技術を開発する	11.9	販路を広げる	12.0	情報力を強化する	15.3	人材を確保する	12.2	新しい事業を始める	9.5	経費を節減する	15.7
5位	教育訓練を強化する	7.5	新しい工法を導入する	7.2	教育訓練を強化する	8.5	宣伝・広告を強化する	11.0	提携先を見つける	9.5	技術力を強化する	8.4

■調査員の調査コメントから■

○昨年12月の景気浮揚期待感から1年経過し、景気が悪いと認識される方はほとんどなく、公共工事や消費増税前の需要増加から売上が増加した企業も多く、前年同期と比較し景気回復の実感があった。

○今回調査の特徴として、経営上の問題点として「人手不足」が挙げられる割合が増加し、重点経営施策も「人材の確保」を挙げる経営者が多くあった。しかし、将来の景気反動懸念から正社員の採用は消極的な経営者が多かった。

○建設業で職人不足が継続している。また、建築資材の一部(合板や断熱材)が入手難になってきたとの声が複数あった。東北の復興に加え、東京オリンピックに向けた首都圏での工事の増加が予想されるため、さらにこの傾向が続くとの見方もあった。

○雇用面で、基本給の増加を見送る企業が多い。一方で、給料以外に魅力をもたせることで安定雇用の確保を図る目的で、社員旅行の復活や福利厚生等を充実させたいとする企業も複数あった。

○消費増税後の景気は、過去の経験則から落ち込むと予想する声が多い中、10%への消費増税が27年10月に予定されていることから、今回の落ち込みは小さいと予想する声もあった。

○26年度経営見通しとして、政府の消費増税時の経済対策や公共事業等の恩恵が受けられる企業は良いだろうが、受けられない企業は悪くなり、2極化すると予想している経営者が複数あった。

以上

■調査要領■

■調査対象■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2013年11月26日～12月6日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

DIを中心に分析

5. 季節変動について

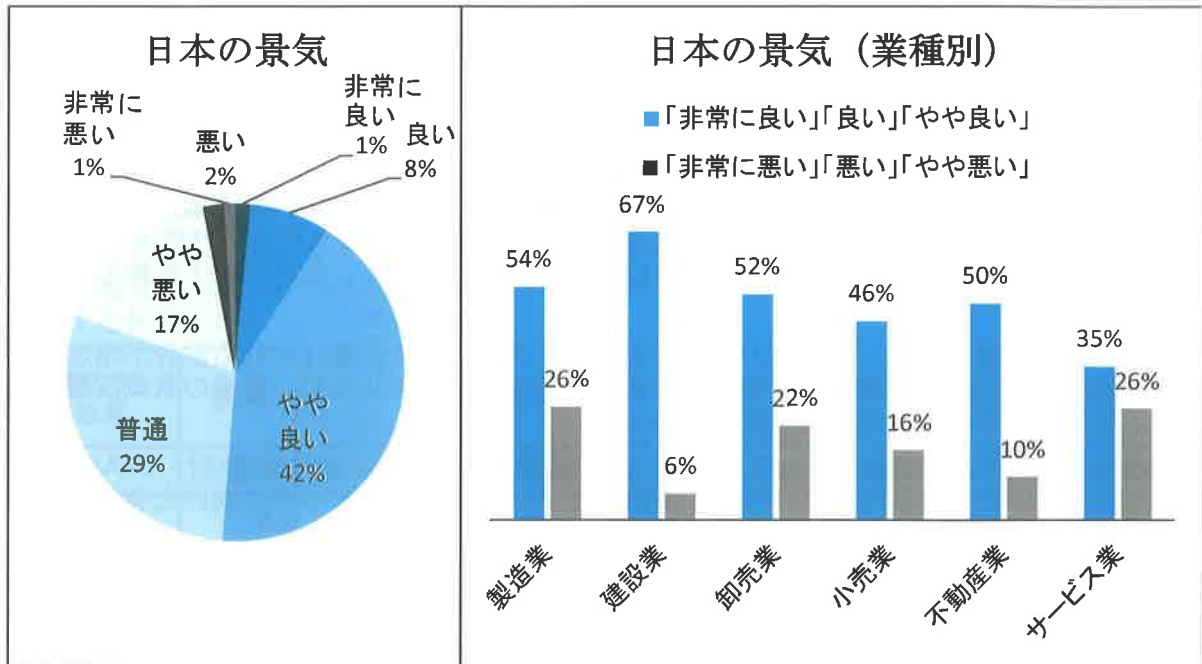
業況判断DIは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。
また、掲載資料は正確性・安全性を保证するものではありません。

地区別	企業数	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	123	1～4人	24	12.1%
真庭地域	41	5～9人	36	18.1%
美作勝央地域	35	10～19人	55	27.6%
総計	199	20～29人	30	15.1%
業種別	企業数	30～39人	16	8.0%
製造業	65	40～49人	8	4.0%
建設業	33	50～99人	14	7.0%
卸売業	23	100～199人	11	5.5%
小売業	37	200～300人	4	2.0%
不動産業	10	301人以上	1	0.5%
サービス業	31	総計	199	100.0%
総計	199			

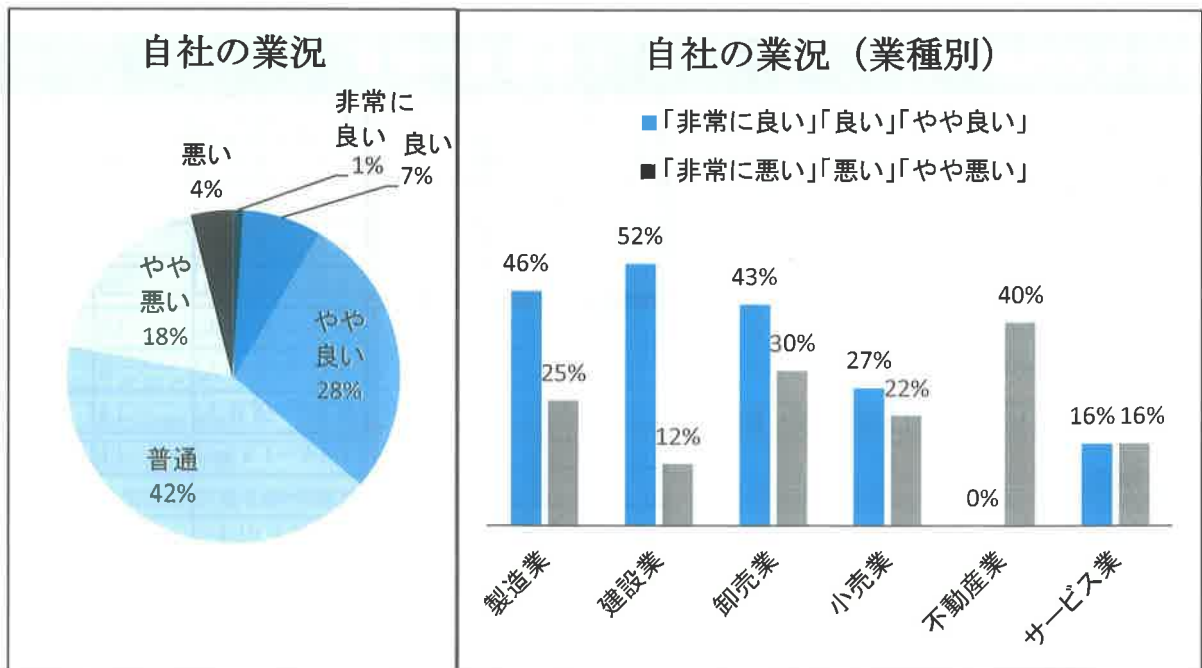
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査-「平成26年の経営見通し」

問1. 平成26年の日本の景気をどのように見通していますか？



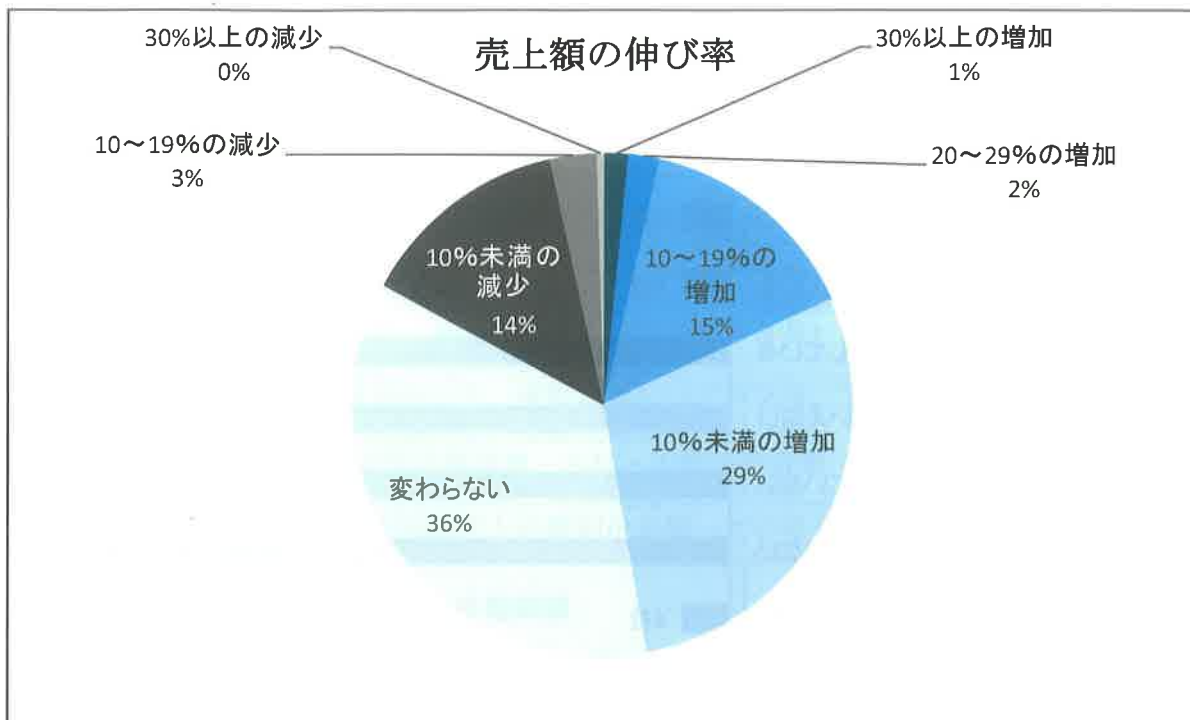
●『非常に良い』『良い』『やや良い』が、51%、『非常に悪い』『悪い』『やや悪い』が、20%となった。

問2. 平成26年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか？



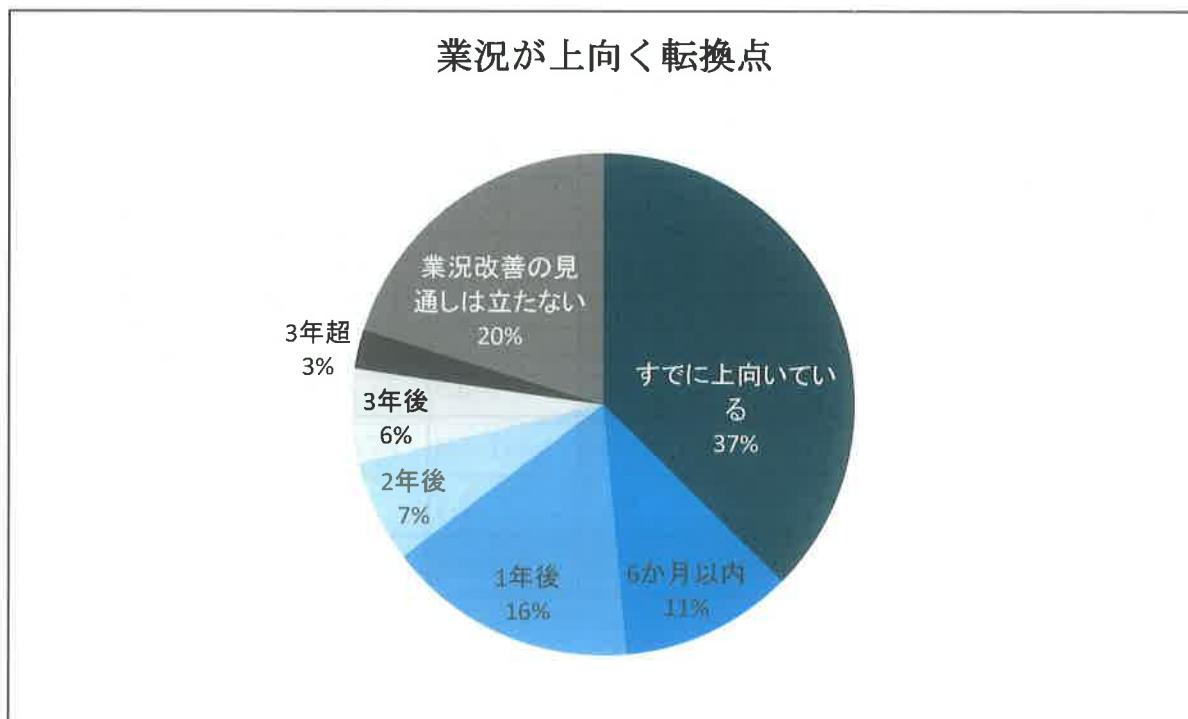
●『非常に良い』『良い』『やや良い』が、36%、『悪い』『やや悪い』が、22%となった。

問3. 平成26年において貴社の売上額の伸び率は、平成25年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか？



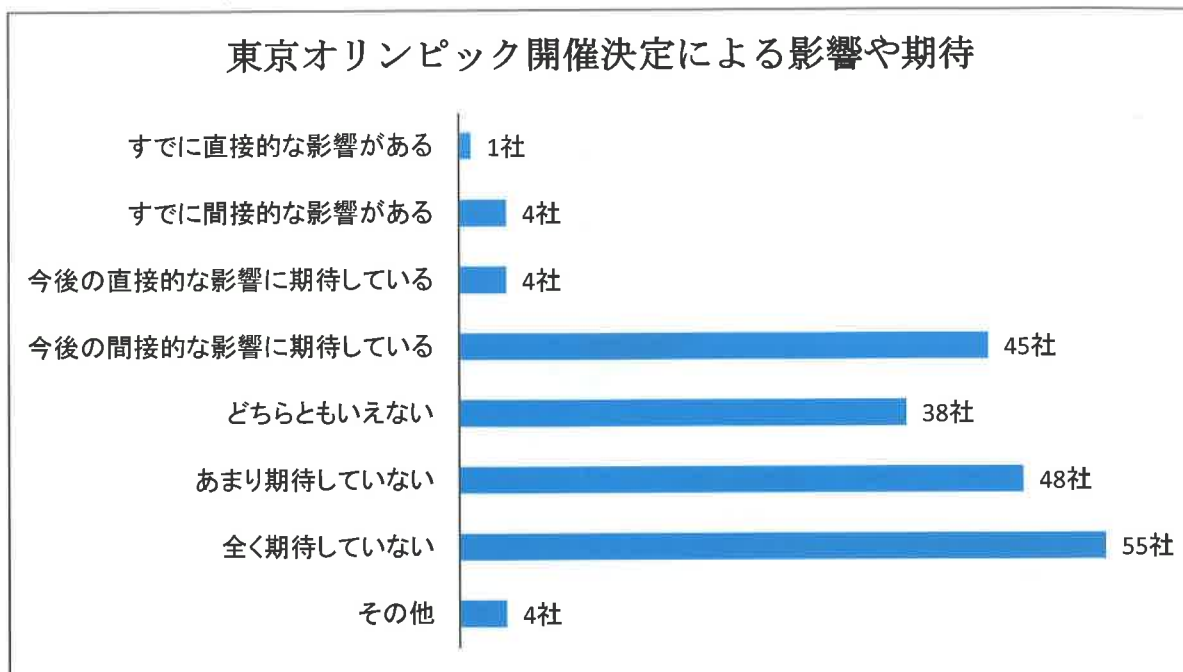
●平成26年売上額の前年比伸び率において、増加と見通している企業割合が47%、減少と見通している企業割合が17%となった。

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか？



●『すでに上向いている』『6か月以内』との回答が約半分(48%)となる一方で、『業況改善の見通しは立たない』との回答も20%あった。

問5. 2020年の東京オリンピック開催決定によって、貴社の今後の業況にどのような影響や期待がありますか？



●東京オリンピックは『全く期待していない』『あまり期待していない』との回答が、半数を超えた。

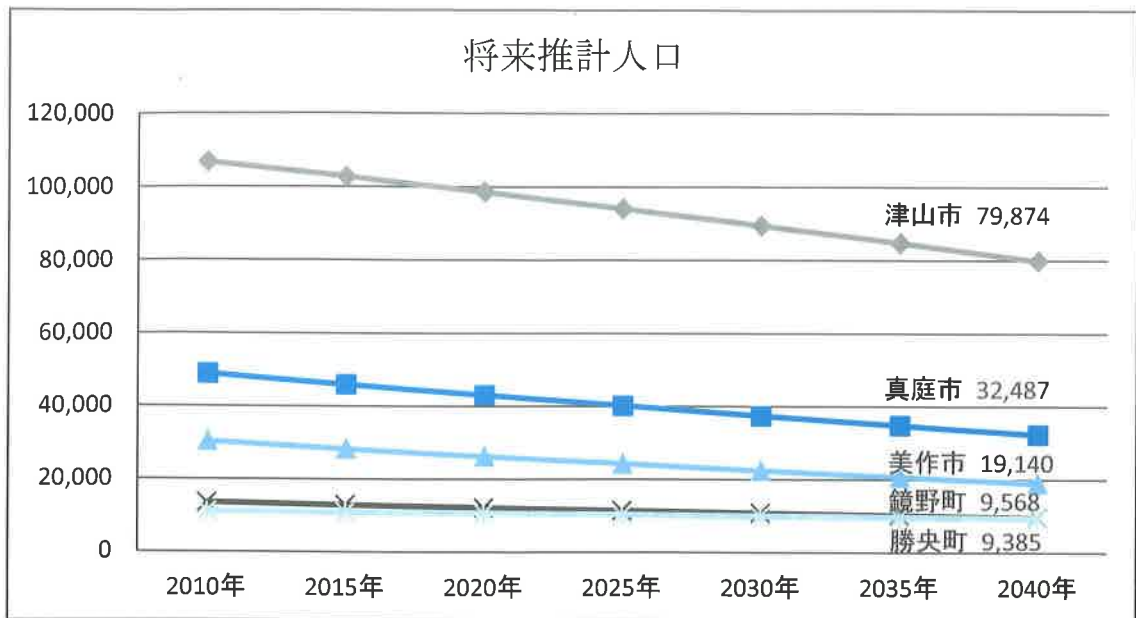
(参考) 『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)

総人口(人)	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
津山市	106,788	102,689	98,573	94,062	89,449	84,750	79,874
真庭市	48,964	46,061	43,166	40,300	37,570	34,978	32,487
美作市	30,498	28,381	26,353	24,387	22,541	20,817	19,140
鏡野町	13,580	12,885	12,143	11,430	10,783	10,175	9,568
勝央町	11,195	10,959	10,653	10,330	10,024	9,713	9,385
上記市町の計	211,025	200,975	190,888	180,509	170,367	160,433	150,454
上記市町の指数	100.0	95.2	90.5	85.5	80.7	76.0	71.3
岡山県	1,945,276	1,913,145	1,867,744	1,811,274	1,749,284	1,682,159	1,610,985
岡山県の指数	100.0	98.3	96.0	93.1	89.9	86.5	82.8
上記市町÷岡山県	10.8%	10.5%	10.2%	10.0%	9.7%	9.5%	9.3%

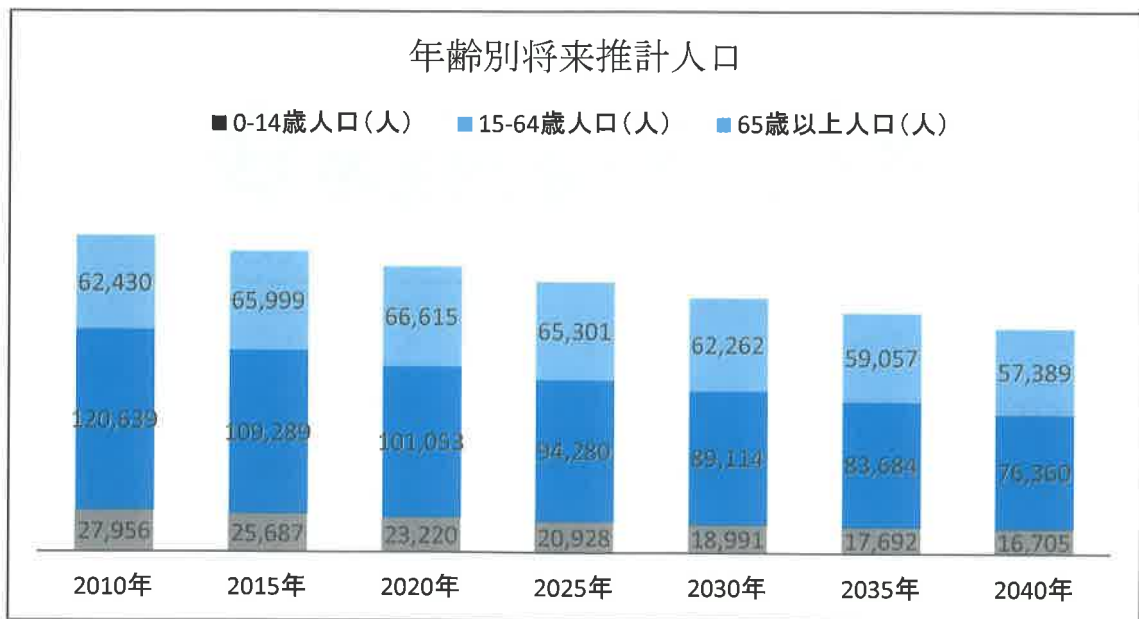
出典: 国立社会保障・人口問題研究所

●当地域の人口は、2020年は、2010年に比べて9.5%減少、2040年は28.7%の減少が予想されている。岡山県における当地域の人口比率は、2010年の10.8%から2020年は10.2%、2040年は9.3%と予想されている。

●当地域の人口は、2040年は2010年に比べて、岡山県の17.2%減少に対し、11.5ポイント低い28.7%減少と予想されている。市町別には、減少率の少ない順から、勝央町16.2%減少、津山市25.2%減少、鏡野町29.5%減少、真庭市33.7%減少、美作市37.2%減少が予想されている。



●当地域の人口は、2040年は2010年に比べて0-14歳は40.2%減少、15-64歳は36.7%減少、65歳以上は8.1%の減少が予想されている。また、65歳以上の比率は、2010年29.6%、2040年は38.1%と予想されている。



■ 作州地域のパートナー ・ よろず相談信用金庫 ■

●本調査は、信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」の調査表を使用しています。信金中央金庫の『中小企業景況レポート』は、全国約16,000社の中小企業を全国268の信用金庫職員が面接により調査したものです。

●本調査先数は、前回より26社増加し、199社のご協力をいただきました。

●当金庫が目指す姿は「作州地域のパートナー」です。その意図は、「我々は、主役であるお客様や地域を支える「パートナー」でありたい。よき脇役、よき裏方として、お客様と相互理解の下、切磋琢磨し、お互いに高め合う存在でありたい」というものです。本業に真剣に取り組み、我々の意見にも耳を傾けて頂き、協力し合えるお客様を我々はお手伝い致します。

●「よろず相談信用金庫」担当の営業支援部地域創造課では、顧客サービスの充実を図るべく、事業承継セミナーの開催、景況レポートの発刊、創業支援補助金やものづくり補助金等各種補助金の申請支援、海外進出支援、地域振興支援等で地域とお客様の役に立つ活動に取り組んでいます。お気軽にご相談ください。(内線306 担当：藤本、岡部)



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15

0868-22-4121

営業支援部

(担当：杉山裕昭)